

6月17日に人権講演会がありました。講師の弘瀬理沙さんにお話をしていただいたことの中から抜粋してみました。詳しい内容を読みたい人は、ホームページをご覧ください。

「平等」と「公平」を考える

今、壁の向こうで楽しそうなことが行われています。立っている3人はそれが見たいと思っています。ただ、一番左の人は、そのままでは壁が邪魔をして見られない。そして真ん中の人はぐーっと背伸びしたら何とか見られる。右側の人は何もしなくても見える。

この状態でみんなに平等なことをしてあげようとしたら、みんなに一つずつ赤いブロックで高さを増してあげることです。そうしたら右側の人はさらによく見えて、真ん中の人はよく見えるようになって、左側の人も何とか見えるでしょ？って、これが平等です。そして公平。見えているという状態が大事です。右側の人にはすでに見えているから要りません、真ん中の人には一つ渡したら見えますね、一番左の人は三つくらい要るよねって。これが公平ですね。平等と公平、誰か損をしていますか？

今の世の中は、この公平な状態で、最初から見えていて赤のブロックを一つももらえなかった人が、ちょっと怒る世の中なんです。見えなかった人の生活が整って、ああ綺麗だなと景色を楽しんでいたなら、隣から文句を言われる。こんなことを無くすためにはどうしたらいいのでしょうか？

壁ではなくてガラスにしたら、みんな見えませんか？ ガラスにするということが社会の中での取組、社会を変えていくということなんですね。一人一人が頑張るにも限界がある。文句を言い続ける人も疲れるだろうし、言われ続ける人もしんどいし。本当は見たいけれど見たいと言えない人もいるでしょう。私の友だちにはいます。あなたはもっとたくさんのブロックを積んでもらうべきだ、当然の権利だと言っても、また世の中の人から文句言われるからこれでいいという人がいます。さらにこんなことを言います。もし、私がブロックを使わないと見えないことが世の中にバレたら、それだけで私は怖いと。その人は自分の不満やストレスをずーっとばれないようにこらえて生きていっているんでしょね。一人一人がすごく頑張らないといけないような世の中は、私は変えていきたいなと思っています。差別が何であるか、人権が何であるかをよく知っておくことで、自分の身に起きることを守るとか、自分の大事な人を守ることに繋がっていきます。

一人一人が考えよう

「自分のことを大事にしなから、人を差別しない」